



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

平成 29 年 7 月 号

平成 29 年 7 月 3 日

さいたま市立下落合小学校

電話 852-2280

FAX 852-0188

安全な国（地域）に

校長 稲垣克行



4年生自転車運転免許証取得講習会

6月14日（木）の4年生自転車免許証取得講習会から始まり、1・3・5年生の交通安全教室、2・4・6年生の防犯教室と、交通安全・防犯に関わる学習を行いました。警察署員・交通安全協会等の方々から御指導いただきました。

さいたま市統計書（27年版）によると、交通事故発生件数は、平成22年の6816件から平成26年の4873件と大きく減少しています。少年保護事件取扱人員も平成22年の8733人から平成26年の414

9人と半減しています。さいたま市の交通事故、青少年育成の取り組みの成果が出ていることを感じます。

さて、何か事件・事故があると「警察が厳しく取り締ればよい」「法律を厳しく・細かくすればよい」と意見が出ます。正しい意見ではあるのですが、松下幸之助氏（松下電器[現パナソニック]の創業者）が興味深いことを言っています。「日本人は、電車やバスに乗る時に、誰に命じられるまでもなく行儀よく列にならぶ。・・・中略・・・治安を高めていく一つの方法として法律をより細かくし、警察官を増員し、国民に対する取締りを厳しくする考えがある。民主主義社会における治安・秩序というものは、本来そのように厳しい法律をつくり、警官を増員することによって保っていくべきものではない。国民一人一人が、良識をもって、自主的に国民全体の秩序を保っていく。極端に言えば、一つの法律、一人の警察官がいなくても治安が保てる姿が望ましい。」

考えさせられる言葉だと思えます。PTA、青少年育成会、防犯ボランティアなどの活動も松下幸之助氏のいう「民主主義のあり方」につながっているのでしょうか。日本人として、先輩方が築いてきた安全な国（地域）を維持・推進できればと考えます。

<プールが始まりました>

6月12日（月）よりプールでの学習が始まりました。どの学年も、子どもたちの歓声が上がっています。いよいよ楽しい夏休みとなります。水の事故、交通事故等心配なこともあります。学校でも子どもたちに注意をしていきます。御家庭でもよろしく願いいたします。

